

**9月定例会**  
**総括質問**  
 主な質問と答弁

永田 美典 議員

**防災・減災対策**

**問** 災害時要援護者講演会で報告があった取り組み事例が、防災・減災の課題解決につながるのではないかと、市民の取り組み事例を参考に、地域での「近助」や「共助」による支援を拡げていただきたいと考えている。

**問** 災害対策基本法の改正と、避難所の課題を伺う。

**市長** 法改正で避難所における備蓄が示された。避難生活が長期化した場合の健康管理などが課題である。

**問** 指定避難所にも福祉避難所的なスペースが必要ではないか。

**市長** 福祉避難所の二次的な避難施設として公民館や図書館も活用する。

**問** 公設消火栓を利用した応急給水活動の課題は何か。訓練は実施しているのか。

**市長** 給水栓の設置の準備や訓練が課題である。今後は定期的に訓練を行う。

**問** 法改正で要援護者名簿の作成が義務化されたがどう対応するのか。

**防災危機管理部長** 自治会長や民生委員児童委員にも取り扱いを促していきたい。災害時の一時避難所の

**公明ひらつか**

拡大について考えを伺う。

**防災危機管理部長** 災害状況により一概に指定できないが、検討していく。

**問** 在宅避難者に対する考え方を伺う。

**防災危機管理部長** 安全性が確認できれば損壊した住宅なども利用していただき、食糧などの支援をする。

**問** 災害対策本部組織に新設した医療救護部の役割は。

**福祉部長** 避難所における相談業務や、ボランティアの受け入れなどである。

**問** 不具合のある消火栓が多数発見されたが、至急対応するべきではないか。

**入札参加資格審査**

**市長** 早急な対応を考えていきたい。

**問** 一般競争入札における参加資格審査の誤りが判明した。再発防止策を伺う。

**総務部長** チェック体制を見直し、改善するよう、参加条件などを分かりやすくしていく。

**問** 資格審査マニュアルを作成してはどうか。

**総務部長** 誤りのないよう整えていきたい。

**ごみの資源化**

**問** 厨芥類資源化施設導入の可能性調査で、事業のメリットはないと結論された。準備に問題はなかったのか。

**環境部長** 業務遂行上必要な資料を提供した。

**問** 調査の分析結果と、今後の事業の方向性を伺う。

**環境部長** 施設の有効性は認められなかった。代替案を含め、年度内に必要性を判断していく。

**公共施設の相互利用**

**問** 「教育の方針」に耐震化事業を掲げているが、来年4月の近隣市との相互利用の開始に向けて、博物館の耐震化は間に合うのか。

**企画政策部長** 間に合わない。平成25・27年度の第3期以降で位置づけている。

**伊東 尚美 議員**

**庁内評価について**

**問** 市役所内で実施した事業の庁内評価を踏まえて、市の事業を今後どのように改善していくのか。

**企画政策部長** 庁内評価運営委員会の意見も踏まえながら見直しを行い、平成26年度の予算編成と27年度の事業執行に反映させる。

**問** 平塚市独自の事業の評価の手法を早く確立すべきではないか。

**企画政策部長** 試行錯誤しながら、平塚らしい事業の仕分けができればと思う。

**5つめ対策について**

**問** いじめの早期発見のために「教師力」をどのようにアップさせているのか。

**問** 小・中学校、幼稚園、保育所への救急搬送の状況を伺う。

**子ども安心カード**

**問** 小・中学校、幼稚園、保育所への救急搬送の状況を伺う。

**教育指導担当部長** 昨年は105件の出動があり、年々増加傾向にある。

**問** 児童・生徒の病状やけがによる救急搬送時の対応マニュアルはあるのか。

**教育指導担当部長** 統一したマニュアルはないが、各学校で工夫して作成し、周知徹底を図っている。

**問** 群馬県渋川市では、病歴やアレルギーの有無などを記した「子ども安心カード」を使い救急搬送の初動

**ひらつか市民プラザの再整備**

**問** 今後の市民プラザの役割をどう考えているのか。

**産業振興部長** 観光情報の発信基地としての活用などを考えている。名産品販売所としての期待もある。

**問** 障がい者団体による物販の販路拡大のための展示即売会も開いてはどうか。

**産業振興部長** そのような団体にも活用してほしい。

**常任委員会**  
**議案審査の概要**

今定例会に上程された議案は、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。  
 ※審査の概要は5面にも掲載しています

**総務経済常任委員会**

議案10件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。また、請願3件を審査し、1件を継続審査、2件を不採択とすべきものと決定しました。

◆主な質疑

○議案第56号「平塚市特別職員の給与に関する条例及び平塚市教育委員会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の改正する条例」

一部を改正する条例・議案第57号「平塚市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

農業費の補正を行うが、自然災害の発生を踏まえた農道・用排水路の維持管理に対する見解を聞きたい。

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

生産性の確保を主眼として、これらを守るために、今後老朽化した農道や用排水路を改修し、必要な改良を行っていく。

**鈴木 晴男 議員**

**ツインシティ整備推進事業**

**問** 今定例会で1億2600万円の補正予算が提案されたが、昨年提出した4000万円の使途明細がないと審議できないので、都市建設常任委員会で審査するまでに提出してほしい。また、都市計画決定はいつまでに行うのか。

**地域猫について**

**問** 9月に施行された改正動物愛護管理法には、「殺処分ゼロ」と「終生飼養」がうたわれているが、「地域猫」はこの取り組みそのものである。庁内評価では「拡大して継続」となったが、メンタル面を含めた今後の取り組みについて伺う。

**環境厚生常任委員会**

**問** 9月に施行された改正動物愛護管理法には、「殺処分ゼロ」と「終生飼養」がうたわれているが、「地域猫」はこの取り組みそのものである。庁内評価では「拡大して継続」となったが、メンタル面を含めた今後の取り組みについて伺う。

**公共施設の長寿化について**

**問** 公共施設の長寿化の考え方は示されているが、更新の問題、施設の複合化に対して方針を示すべきだと思いが見解を伺う。

**環境厚生常任委員会**

**問** 9月に施行された改正動物愛護管理法には、「殺処分ゼロ」と「終生飼養」がうたわれているが、「地域猫」はこの取り組みそのものである。庁内評価では「拡大して継続」となったが、メンタル面を含めた今後の取り組みについて伺う。

**問** 9月に施行された改正動物愛護管理法には、「殺処分ゼロ」と「終生飼養」がうたわれているが、「地域猫」はこの取り組みそのものである。庁内評価では「拡大して継続」となったが、メンタル面を含めた今後の取り組みについて伺う。

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆主な質疑

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

介護保険施設整備費等助成事業について、今回の補正は小規模多機能型居宅介護施設に対するスプリンクラーの設置の補助金となるが、これですべての小規模多機能型居宅介護施設にスプリンクラーの設置が終わるのか。

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

施設の8事業所については、すべてスプリンクラーの設置が完了する。

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

公立保育所施設整備事業について、保育園の不具合箇所をリストアップする際、所管部署以外の職員による指摘や精査も必要なのではないか。

○議案第63号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」

所管部署の職員だけではなく、建築住宅課の技術職員も同行し、専門家の目で見てもらっている。また今後、保育園と幼稚園の連携も考え、教育委員会とも協議していきたいと考えている。